

奈良県 就労困難者在宅就業支援事業 受講生を対象としたアンケート 結果

2010.10.15

奈良県 就労困難者在宅就業支援事業 e-MOTプロジェクト

- 調査対象者
奈良県 就労困難者在宅就業支援事業受講生 29名
- 調査期間
2010年10月7日～12日
- 有効回答数
25 ※今回は任意参加アンケートとして実施（回答率 86.2%）
- 回答者属性
今回の在宅就業支援事業は、奈良県在住のひとり親や障害者が対象。
ひとり親:16名(全体の64%)
障害者 :10名(全体の40%)
※1名が両方に該当
- 調査会社
株式会社ワイズスタッフ
※奈良県から委託を受け、株式会社ワイズスタッフが調査を実施しました。

今回の調査結果から、以下のようなことがわかった。

初回集合研修が好評 ※P3参照

- 初回集合研修は、最低限必要なパソコン操作技術の習得をはかりながら、トレーナーや参加者同士の交流を通じて、参加意識を高める目的で開催。参加者からも、非常に好評だった。
- 特に、参加者の事情に配慮したサポート(託児サービスなど)、トレーナーの対応が高評価。
- 土日でも仕事がある参加者も少なくないため、参加日の選択や短時間化がはかれるとなお良い、などの意見もあがった。

クラスルーム制のeラーニングという仕組みにより、意欲的に研修に取り組む参加者が多い ※P4-7、P11-12参照

- 自宅研修について、「平日は毎日、休日でも取り組むことが多い」という参加者が6割を占め、「休日以外は毎日取り組む」参加者と合わせると8割以上が意欲的に学習している。研修に取り組む時間帯は深夜が多く、仕事等の両立をはかりながら、研修時間を確保している様子が見える。
- 研修の内容についての満足度が高いことに加え、「トレーナーからの励まし」や「仲間同士の交流」など「クラスルーム制」の効果により、参加者のモチベーションが高い状態で維持されている。

研修でのスキル習得、研修終了後の就業への期待度が高い ※P7、P10、P13参照

- 研修修了時には「在宅ワーカーとして自立できる専門技術を身につけたい」と考えている参加者が半数以上を占め、特に障害を持つ参加者にその傾向が強い。
- 研修終了後の就業については、「ひとり親」は外勤+在宅ワークの掛け持ち、「障害者」は在宅ワーク専業志向が強い。「ひとり親」は求める収入希望額も高く、そのために長時間労働やダブルワークを志向する傾向が強いようだ。

研修参加前の就業状況は、「ひとり親」「障害者」ともに非常に厳しい ※P8、P14参照

- 研修参加前の6か月以内に働いていた参加者は全体の7割。そのうち、正社員として雇用されている人は2割と僅か。ほかにはパートアルバイトなどの臨時雇用が多く、6か月以内の就労による収入額が30万円未満の人が半数を占めた。特に「ひとり親」では仕事を掛け持ちした割合が半数近くとなっており、収入確保のために厳しい状況に置かれていることがうかがえる。

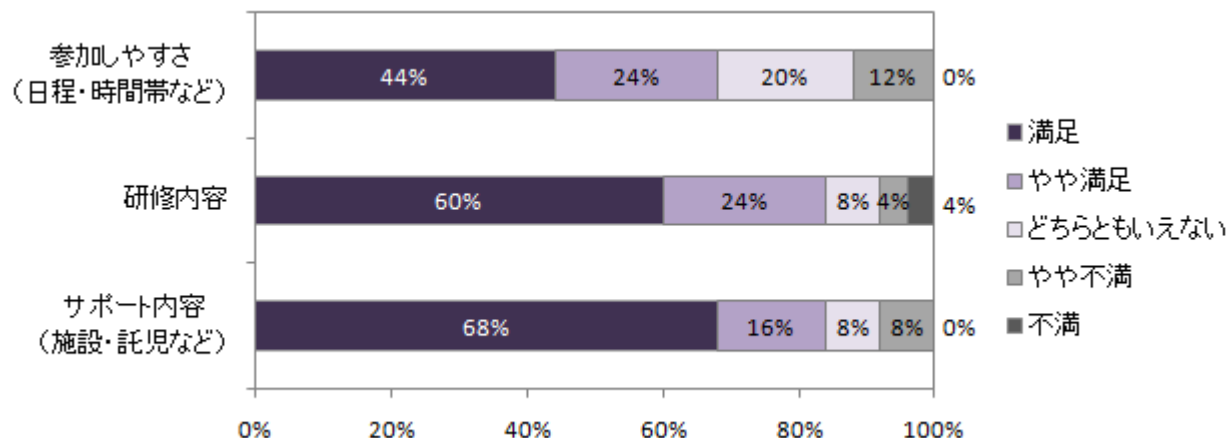
就業支援の認知拡大が望まれる ※P9参照

- 一般的なハローワークについては認知度が高く、職業紹介などを実際に受けた経験がある参加者が多い。しかし、母子・スマイルセンターといった「ひとり親支援」については、やや認知度・活動度合いが低かった。

初回集合研修に対する参加者評価

- 研修開始にあたっては、最初に集合研修を実施。
eラーニングに最低限必要なパソコン操作の実習のほか、参加者のモチベーションアップのための講演、トレーナーの紹介や参加者同士のコミュニケーションタイムなど、受講生の不安を払拭する内容で行われた。この内容について、8割以上の参加者が肯定的な評価だった。
- 就業や育児、障害のある人でも参加しやすいよう、日程や会場設定等配慮した結果、参加者から良好な評価が得られた。

■参加者の評価 (N=25)



■評価理由(自由回答)例

【参加しやすさについて】

- 駅が近く便利。日程についても平日ではなく予定の調整が容易でありがたかったです。
- 平日でない事と、託児もある点が○。
可能であれば、候補日が2つくらいあって選択制であればありがたいと思った。
- 土曜日でも仕事がある。午前中または午後だけにまとめてほしい。

【研修内容について】

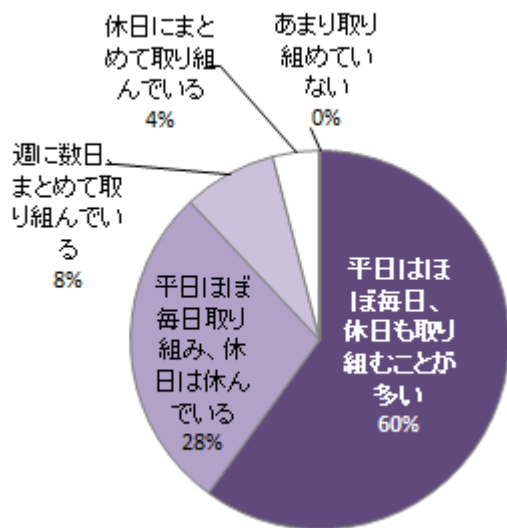
- ただ、座って話を聞くだけの退屈なものではなく、受講生同士のコミュニケーションがとれるような内容で楽しかったです。
- 実際にパソコンを用意して頂いて、触りながらの講習があり、分からない時はその場で教えていただけたので良かったです。
- 講義など楽しい内容だったが、実際にパソコンを操作する機会ももっとほしかった。

【参加サポートについて】

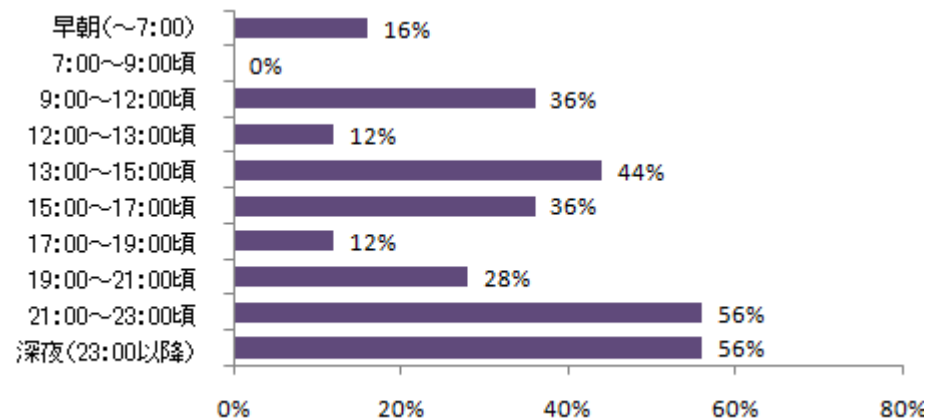
- 託児サービスがあるというだけで、参加しやすさが全然違いますし、スタッフの方の対応も安心感がありました。
- 会場はきれいで迷うこともなく、駅からも近くて助かりました。
- 障害者トイレもあり、駐車場もあったので良かったです。停められたので良かったのですが、車イス用の停める場所がもう一つくらいあってもいいかなと思いました。

- 自宅で受講する基礎研修については、「平日はほぼ毎日、休日も取り組むことが多い」という参加者が60%。
- 平日の取り組み時間としては、21時以降の夜間が最も多くなっている。

■ 平日・休日の取り組み状況 (N=25)

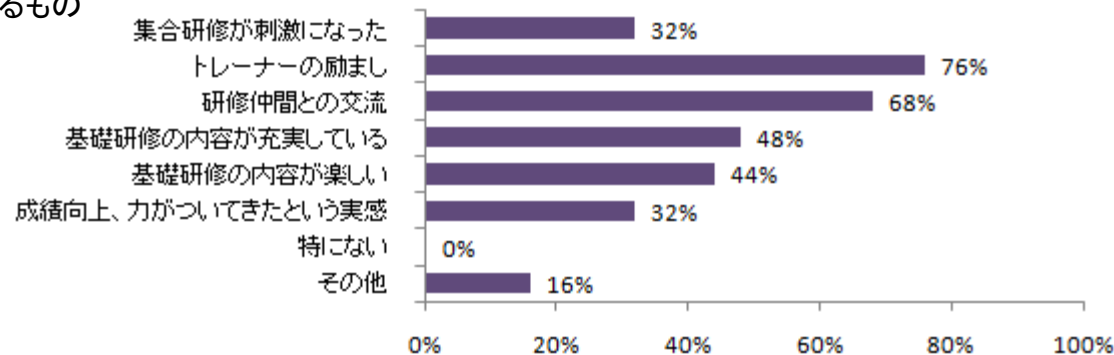


■ 平日の主な取り組み時間 (N=25、5項目まで選択可)

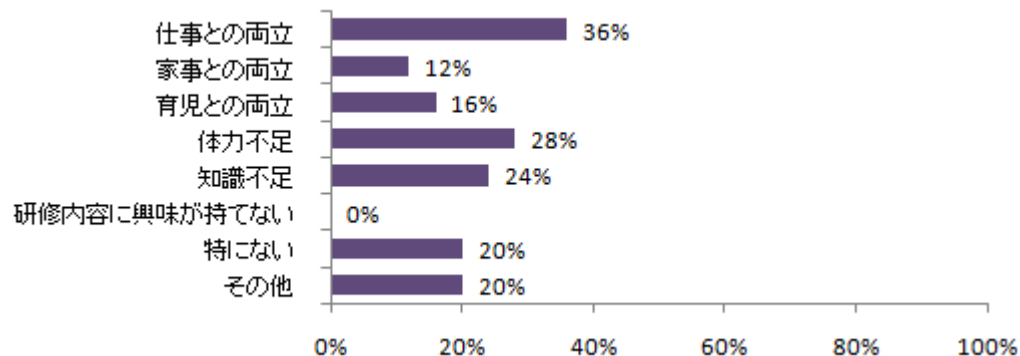


- 今回のeラーニングでは、ネット上にバーチャルな教室＝「eクラスルーム」を設置。受講生を15人ごとの「クラス」に分け、ここで担任のトレーナーに自由に質問をしたり、研修の進捗を互いに報告をしあったりすることで、受講生が孤独にならないような環境を整えた。この結果、受講生からは、「トレーナーの励まし」や「研修仲間との交流」が参加の励みとなっているという声が特に多く聞かれた。この「eクラスルーム」の環境作りが、eラーニングの欠点（質問しにくい、孤独、さぼりがちになる等）を補うことに大きな効果があることが検証できた。
- 一方、受講の妨げになっていることとしては、「仕事との両立」が36%と多くなっており、そのほかでは、連日の研修参加による疲れが出ているのか「体力不足」という声もあがった。
- 教材内容や研修サポートなどの面で、受講生が高いモチベーションを維持できる環境づくりが功を奏し、仕事との両立や体力不足など、個人的な事情以外の「研修の妨げになる要素」が少ない。

■ 受講の励みになっているもの (N=25)



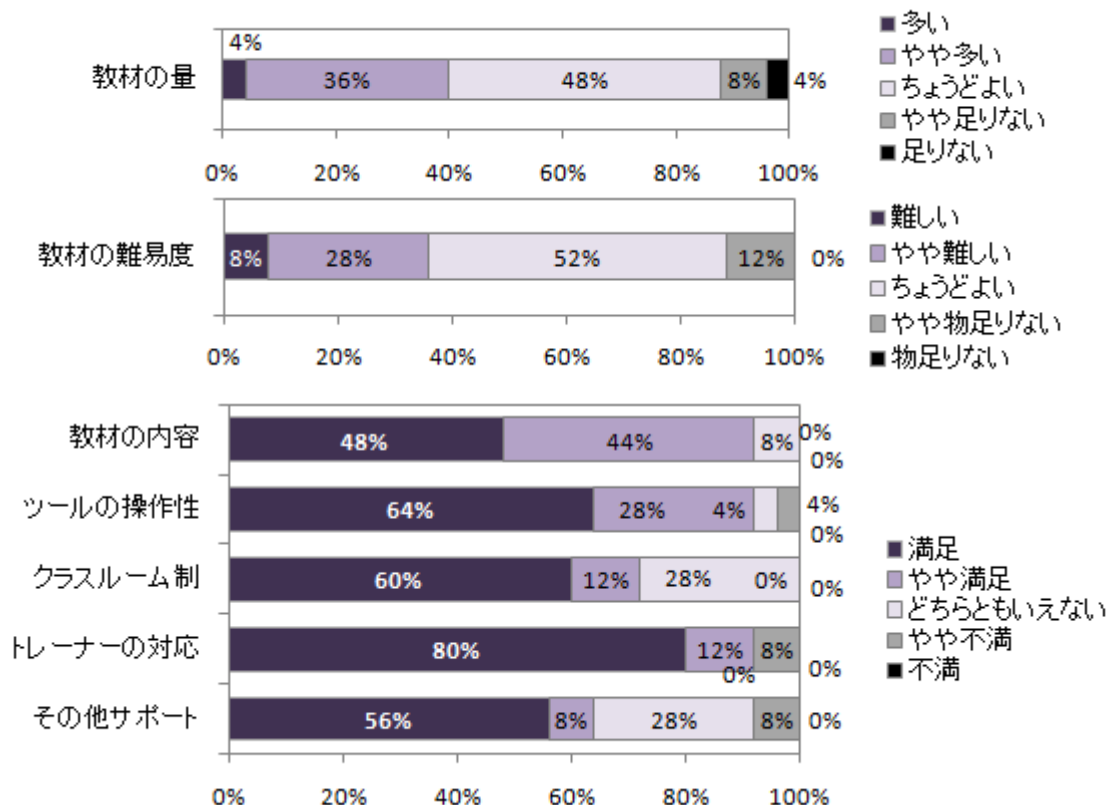
■ 受講の妨げになっているもの (N=25)



基礎研修に対する参加者の評価

- 基礎研修の教材のボリュームや難易度については、「ちょうどよい」という回答が半数を占める。一方で、やや負担を感じている参加者が4割前後、逆に物足りなさを感じている参加者も1割強あった。研修への時間の割きやすさやパソコンスキルの違いによって、評価に差が生じていることがわかる。
- 教材の内容や、研修の進め方などについては肯定評価が多く、特に「トレーナーの対応」「ツールの操作性」が高評価。

■参加者評価(すべて N=25)



■基礎研修全般について

気になっていること 自由回答例

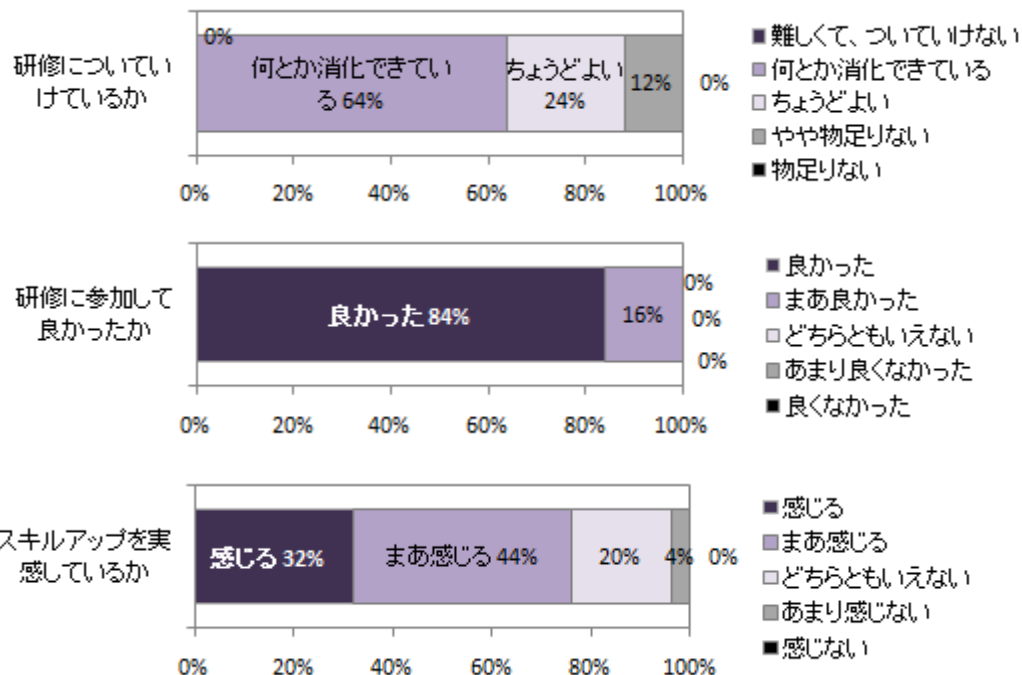
	人数
日によって課題量変動する	2
研修についていけない不安	2
その他	5

- 万が一に備えて課題は当日中に終わらせようがんばってますが、正直、量が多くてしんどい日もあります。
- 体調不良で自分で出来ないことを解決できない時(サポートセンターに問い合わせができない時間)が困る。
- 今後、教材のレベルがどのように変化していくのか、全体の流れはどのようにしていくのか先の予定が気になる。
- 自分でも時間の累積管理をしていますが、在籍管理システムのフレアで累積時間数が解るようになって欲しいです。

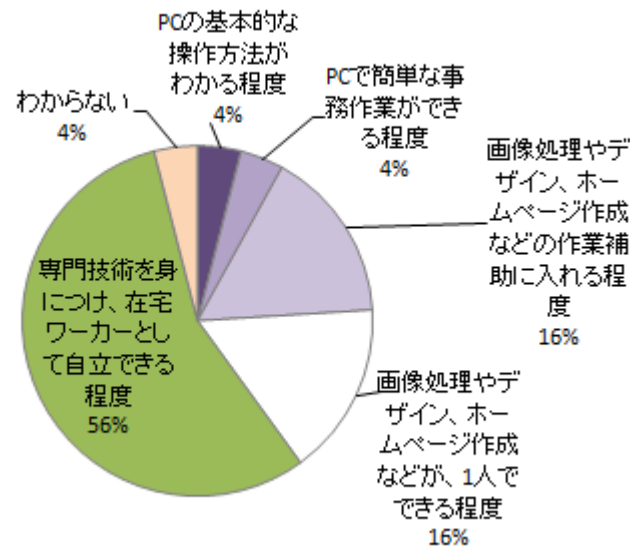
参加者の研修への意識

- 研修が始まってから1か月以上がたち、今時点で参加者が研修にどのような意識を持っている確認したところ、「研修についていくのは容易ではないが、参加して良かった」という評価が多いことがわかった。
- 研修に参加することで、徐々にスキルが身についてきたと実感できている様子もうかがえる。
- この研修参加後には「在宅ワーカーとして自立できる程度」のスキルを身につけたいと考えている参加者が多かった。

■ 研修への意識 (N=25)



■ 研修での習得を目指すレベル (N=25)



研修参加前の就業状況

- 研修参加以前(6か月以内)に仕事をしていた参加者は、全体の72%。
- そのうちの61%は「パート・アルバイト」で、「契約社員・派遣社員」が11%と、全体に臨時雇用者が多い。半年間の就業による収入の合計額が「30万円未満」という参加者があわせて半数にのぼっているほか、2つ以上の仕事を掛け持ちした参加者も4割近いなど、参加者がおかれている就業状況の厳しさがわかる。

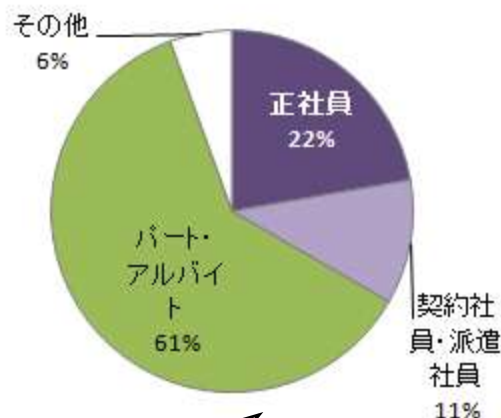
■就業状況 (N=25)

※研修前6か月以内、短期就業含む



働いていた18名中
6か月以内に転職・退職した : 3名
2つ以上の仕事を掛け持ちした: 7名

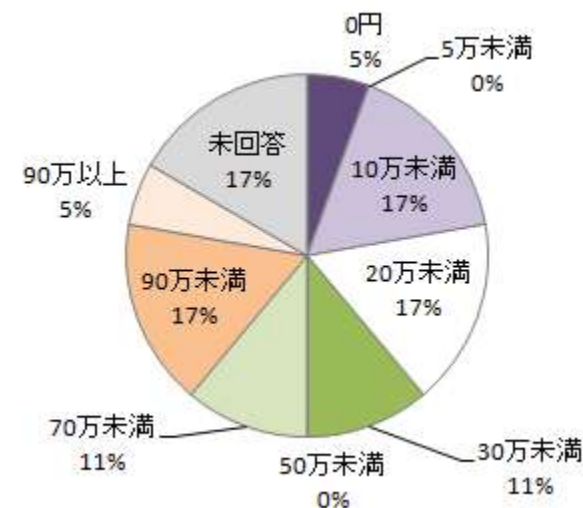
■就業時の雇用形態 (N=18)



転職や仕事の掛け持ちをしている場合も、パートなど臨時雇用が多い

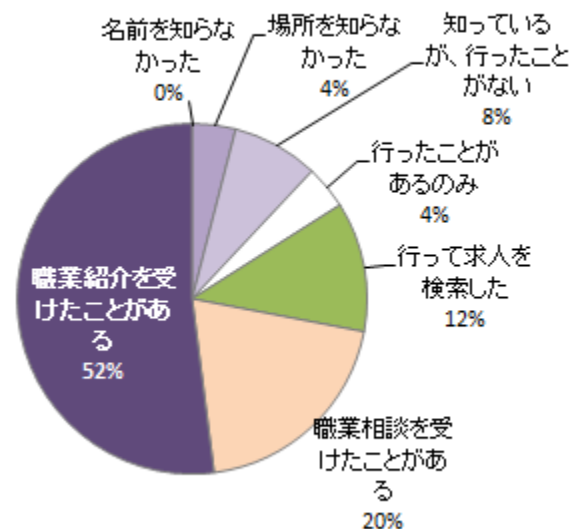
■就業による収入 (N=18)

※研修前6か月以内の就業による収入合計額



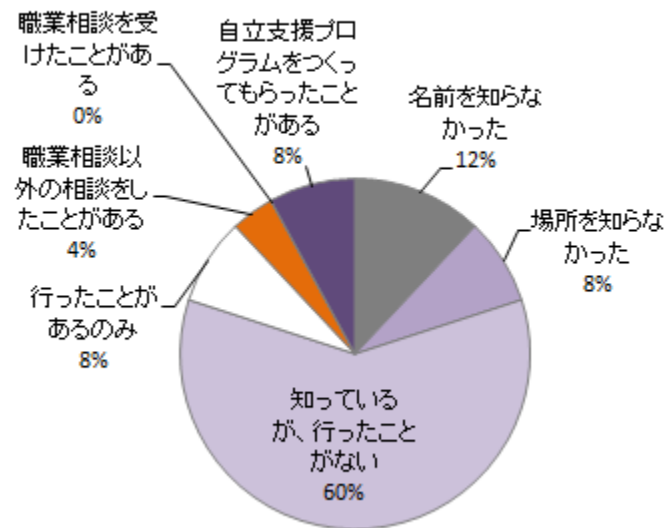
- 公共の就業支援について、「ハローワーク」は利用者が多く、「職業紹介を受けたことがある」とした参加者が52%にのぼった。
- 一方で、母子・スマイルセンター(母子家庭等就業・自立支援センター)は認知度・活用度共に低めで、同施設を知らなかったり、行ったことがないという参加者が8割を占めた。

■ ハローワークについて (N=25)



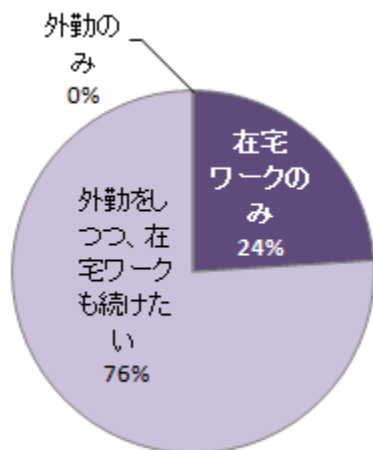
■ 母子・スマイルセンター(※)について (N=25)

※母子家庭等就業・自立支援センター、都道府県により名称は異なる

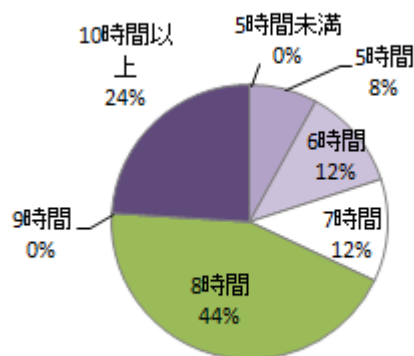


- 研修終了後の就業について、現在のイメージを聞いてみると、「在宅ワークのみ」とした参加者は24%で、76%は「外勤をしつつ、在宅ワークも続けたい」と回答した。
- 外勤・在宅ワーク共に含めての就業時間希望は「8時間」が44%と多く、それ以上とした人もあわせるとほぼ7割がフルタイムワーカーを希望。希望収入も外勤・在宅をあわせて「15万円～20万円未満」が44%と多かった。また「できるだけ長く」「年金がもらえる時期まで」働きたいという回答者が大部分を占め、就業への意欲は高いものとなっている。

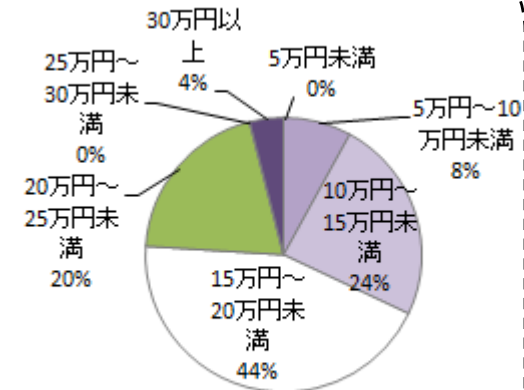
■ 受講後の就業スタイル希望 (N=25)



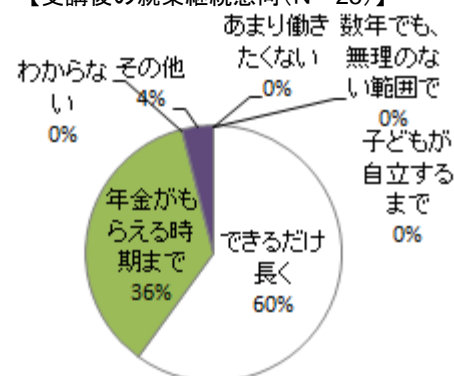
【受講後の希望就業時間(N=25)】 ※外勤、在宅ワーク共 含める



【受講後の希望月収(N=25)】



【受講後の就業継続意向(N=25)】



【参考】属性による違い(1)～自宅研修の取り組み状況

- 今回の研修には「ひとり親」「障害者」が参加しているが、その属性別に今回の調査結果を見てみると、特に研修の受講状況と就業に対する意識で大きな違いがあった。
- まず、自宅での基礎研修の受講状況について、「ひとり親」の参加者では「平日はほぼ毎日、休日も取り組むことが多い」がほぼ7割を占めている。また、その取り組み時間を見ても、「ひとり親」で平日の日中に研修に取り組むことができる参加者は少なく、「21:00～23:00頃」が68.8%、「深夜(23:00以降)」が75.0%と多い。
このことから、特にひとり親は、育児や仕事などとの両立に苦労しながらの参加であることがうかがえる。

■ 平日・休日の取り組み状況

	ひとり親(N=16)		障害者(N=10)		全体(N=25)	
	人数	構成比(%)	人数	構成比(%)	人数	構成比(%)
平日はほぼ毎日、休日も取り組むことが多い	11	68.8	5	50.0	15	60.0
平日はほぼ毎日取り組み、休日は休んでいる	2	12.5	5	50.0	7	28.0
週に数日、まとめて取り組んでいる	2	12.5	0	0.0	2	8.0
休日にまとめて取り組んでいる	1	6.3	0	0.0	1	4.0
あまり取り組めていない	0	0.0	0	0.0	0	0.0
その他	0	0.0	0	0.0	0	0.0
計	16	100.0	10	100.0	25	100.0

■ 平日の主な取り組み時間(5項目まで選択可)

	ひとり親(N=16)		障害者(N=10)		全体(N=25)	
	人数	構成比(%)	人数	構成比(%)	人数	構成比(%)
早朝(～7:00)	4	25.0	0	0.0	4	16.0
7:00～9:00頃	0	0.0	0	0.0	0	0.0
9:00～12:00頃	5	31.3	4	40.0	9	36.0
12:00～13:00頃	2	12.5	1	10.0	3	12.0
13:00～15:00頃	6	37.5	5	50.0	11	44.0
15:00～17:00頃	4	25.0	5	50.0	9	36.0
17:00～19:00頃	0	0.0	3	30.0	3	12.0
19:00～21:00頃	6	37.5	2	20.0	7	28.0
21:00～23:00頃	11	68.8	3	30.0	14	56.0
深夜(23:00以降)	12	75.0	2	20.0	14	56.0

【参考】属性による違い(2)～研修の励み・障害になるもの

- 研修受講に際しては、「ひとり親」は「研修仲間との交流」に励まされているという回答が81.3%と、特に多くなっている。
- 受講の妨げになっているものとしては、「ひとり親」の半数が「仕事との両立」をあげたのに対し、「障害者」では「体力不足」が40%だった。

■受講の励みになっているもの

	ひとり親(N=16)		障害者(N=10)		全体(N=25)	
	人数	構成比(%)	人数	構成比(%)	人数	構成比(%)
集合研修が刺激となった	5	31.3	3	30.0	8	32.0
基礎研修の内容が楽しい	8	50.0	4	40.0	11	44.0
基礎研修の内容が充実している	6	37.5	6	60.0	12	48.0
成績向上、力がついてきたという実感	3	18.8	5	50.0	8	32.0
トレーナーの励まし	12	75.0	8	80.0	19	76.0
研修仲間との交流	13	81.3	5	50.0	17	68.0
特になし	0	0.0	0	0.0	0	0.0
その他	2	12.5	2	20.0	4	16.0

■受講の妨げになっているもの

	ひとり親(N=16)		障害者(N=10)		全体(N=25)	
	人数	構成比(%)	人数	構成比(%)	人数	構成比(%)
仕事との両立	8	50.0	1	10.0	9	36.0
家事との両立	2	12.5	1	10.0	3	12.0
育児との両立	3	18.8	1	10.0	4	16.0
体力不足	3	18.8	4	40.0	7	28.0
知識不足	4	25.0	3	30.0	6	24.0
研修内容に興味を持ってない	0	0.0	0	0.0	0	0.0
特になし	2	12.5	3	30.0	5	20.0
その他	2	12.5	3	30.0	5	20.0

【参考】属性による違い(3)～希望する就業形態

- 研修参加により、どの程度のスキルアップを目指しているかという問いでは、「障害者」の方が「専門技術を身につけ、在宅ワーカーとして自立できる程度」の高いレベルを求める比率が高い。
- 研修終了後に希望する就業についても、「ひとり親」は外勤と在宅ワークとの掛け持ち、「障害者」は在宅ワーク専門志向が強いことがわかる。

■ 今回の研修でどの程度までスキルアップしたいと考えていますか

	ひとり親(N=16)		障害者(N=10)		全体(N=25)	
	人数	構成比(%)	人数	構成比(%)	人数	構成比(%)
パソコンの基本的な操作方法がわかる程度	1	6.3	0	0.0	1	4.0
パソコンで簡単な事務作業ができる程度	1	6.3	0	0.0	1	4.0
画像処理やデザイン、ホームページ作成などの作業補助に入れる程度	4	25.0	0	0.0	4	16.0
一人で、画像処理やデザイン、ホームページ作成などの作業ができる程度	2	12.5	3	30.0	4	16.0
専門技術を身につけ、在宅ワーカーとして自立できる程度	7	43.8	7	70.0	14	56.0
わからない	1	6.3	0	0.0	1	4.0
計	16	100.0	10	100.0	25	100.0

■ 今回の研修が終了したあと、あなたはどのように働きたいと考えていますか

	ひとり親(N=16)		障害者(N=10)		全体(N=25)	
	人数	構成比(%)	人数	構成比(%)	人数	構成比(%)
在宅ワークのみ	2	12.5	4	40.0	6	24.0
外勤をしつつ、在宅ワークも続けたい	14	87.5	6	60.0	19	76.0
外勤のみ	0	0.0	0	0.0	0	0.0
計	16	100.0	10	100.0	25	100.0

【参考】属性による違い(4)～研修参加前の就業状況

- 研修開始前については、「ひとり親」参加者の方が就業率は81.3%と高めだが、そのうち7割が臨時雇用(派遣社員・パート・アルバイトなど)であり、仕事を掛け持ちしたことがある参加者の割合も半数近いなど、就業環境は厳しい。
- 研修前に就業していた「障害者」参加者は、全体の半数だった。

■ 研修の開始前6カ月以内に、お仕事はされていきましたか(短期の就業も含む)

	ひとり親(N=16)		障害者(N=10)		全体(N=25)	
	人数	構成比(%)	人数	構成比(%)	人数	構成比(%)
はい	13	81.3	5	50.0	18	72.0
いいえ	3	18.8	5	50.0	7	28.0
計	16	100.0	10	100.0	25	100.0

■ 研修の開始前6カ月以内で、2つ以上の仕事を同時期に掛け持ちしたことはありますか

	ひとり親		障害者		全体計	
	人数	構成比(%)	人数	構成比(%)	人数	構成比(%)
ある	6	46.2	1	20.0	7	38.9
ない	7	53.8	4	80.0	11	61.1
計	13	100.0	5	100.0	18	100.0

■ 主な勤務形態(研修の開始前6カ月以内)

	ひとり親		障害者		全体計	
	人数	構成比(%)	人数	構成比(%)	人数	構成比(%)
正社員	4	30.8	0	0.0	4	22.2
契約社員・派遣社員	1	7.7	1	20.0	2	11.1
パート・アルバイト	8	61.5	3	60.0	11	61.1
その他	0	0.0	1	20.0	1	5.6
計	13	100.0	5	100.0	18	100.0